

政策会議付議事案書 (令和4年11月8日)

提案課名 交通住宅課

報告者名 大嶋 崇志

<p>事案名</p>	<p>定住化促進住宅・ミライエ秦野を活用した移住お試し住宅を開設することについて</p>	<p>㊦ 資料 無</p>
<p>目的・必要性</p>	<p>現在運営している移住お試し住宅「TANZAWA LIFE」は、自然豊かな環境で田舎暮らしが体験できる施設として好評である一方、移住検討者からは、本市の利便性や子育て環境を体験できる施設を求める声もある状況です。</p> <p>また、ミライエ秦野は、空室が増加しており、入居を促進する新たな仕組みを構築する必要があります。</p> <p>このため、ミライエ秦野を活用した移住お試し住宅を開設し、移住の更なる促進を図ります。</p>	
<p>経過・検討結果</p>	<p>平成29年 2月 ミライエ秦野入居開始 令和 2年 4月 市外優先入居開始 令和 3年11月 移住お試し住宅「TANZAWA LIFE」開設</p> <p>利便性や子育て環境の良さを求める移住検討者のニーズを捉え、ミライエ秦野の入居を促進するため、開設するものです。</p>	
<p>決定等を要する事項</p>	<p>令和5年度からミライエ秦野を活用した移住お試し住宅を開設すること。</p>	
<p>今後の取扱い</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年4月 記者会見 2 " 移住体験事業実施要綱の改正 3 " 施設の整備 4 " 利用者募集の開始 5 令和5年5月 開設 	

定住化促進住宅・ミライエ秦野を活用した移住お試し住宅の実施について

令和4年11月8日 都市部交通住宅課

1 必要性

- (1) 現在運営している移住お試し住宅「TANZAWA LIFE」は、自然豊かな環境で田舎暮らしが体験できる施設として好評である一方、移住検討者からは、本市の利便性や子育て環境を体験できる施設を求める声もある状況です。
- (2) ミライエ秦野は、当初入居者が期限である5年を迎え、空室が増加しており、入居を促進する新たな仕組みを構築する必要があります。
(入居状況：31/57戸 入居率：54.4%) (R4.11.1現在)

2 ミライエ秦野で実施することの効果

- (1) 移住につながる可能性が高まる
現在運営している「TANZAWA LIFE」は、利用者が移住を希望した場合、不動産物件を新たに探す必要があり、実際に移住するまでには相当の労力や時間を要することとなります。
一方、ミライエ秦野で実施した場合には、他に不動産物件を探す必要がなく、空室へ即入居が可能なことから、移住につながる可能性がより高まります。
- (2) 経費節減が図られる
空家を借り上げる賃借料や修繕費が不要であるため、経費節減を図ることができます(250～300万円節減)。

3 移住お試し住宅のコンセプト

「TANZAWA LIFE」と「MIRAIE (仮称)」の異なるコンセプトで移住お試し住宅を運営し、秦野の特徴である「田舎と都会が共存するまち」をPRすることで、移住促進を図ります。

- (1) TANZAWA LIFE
自然豊かな環境で田舎暮らしの良さが体験できる住宅
- (2) MIRAIE (仮称)
市の中心地で利便性や子育て環境の良さが体験できる住宅

4 実施案

空室(1室のみ)を活用し、家電、家具、テレワーク設備等を整備した上で、移住お試し住宅「MIRAIE (仮称)」をオープンします。

入居対象世帯(市外在住40歳以下の夫婦又は小学校卒業前の子どものみがいる夫婦)にお試し体験として、最大1週間滞在いただき、ミライエ秦野での生活を体感いただくことで入居を促進します。

5 運営経費

- 1, 284千円(令和5年度予算)